

ZENT稲沢店(愛知県)

心肺停止の客、救助

AEDで初期対応 消防本部から感謝状

昨年12月8日の夕方、「ZENT稲沢店」(愛知県稲沢市)で遊技中の40代男性が心肺停止状態になり、椅子から転がり落ちた。直ちに店長を含むスタッフが連携して初期救助を行った。病院に搬送された男性は翌日、意識を回復。スタッフらは1月13日稲沢市消防本部から感謝状を贈られた。

「これはただごとでは
ない」

ランプ対応していたスタッフの加藤香清さんは、倒れた男性を見て瞬時にそう感じた。顔面蒼白で瞳孔が開いている。呼出しランプを押して知らせてくれた近くの遊技客にお礼を述べながら、午後5時6分、インカムで非常事態が起きたことを告げた。

近くから駆けつけた柴田康臣主任は、直ちに心臓マッサージを施しながら、景品カウンターに設置したAEDを持ってくるように要請。事務所にいた山口貴文さんが、救

急隊へ連絡した。

その間に事務所から谷口隆彦店長と岡本洋介副店長も現場に駆け付け、その場で救命活動にあたった。

谷口店長は合計3回

AEDで電気ショックを与えた。男性の身体は1度も反応しなかったが、それでも三人は、午後5時19分に救急隊が到着するまで必死の救命活動を続けた。



景品カウンターにAEDを設置している

当時の様子を谷口店長

は次のように振り返る。「AEDの講習は入社した10年前に受けましたが、実際に使うのは初めて。遊技コーナーでの救命活動だったため、AEDの音声案内は聞こえませんでした。しかし何と



前列左から石黒消防長、都筑社長、都筑常務、谷口店長、岡本副店長

かして助けなければと
身体が反射的に動きまし
た」

岡本副店長は「私は7
年前の入社時と、4年ほ
ど前の自動車免許センタ

ーでAED講習を受けま
した。人命救助は初めて。
息を吹き込んで男性の
胸が膨らまないの、正
しく行えているのか分か

りませんでした」と話す。

新卒入社3年目の柴田

主任は、「緊張はあまりし
ませんでした。倒れた男
性はやせ形の体型でした
が、かなり強めに胸を押
し、心臓マッサージをし
ました」と入社時に受講
したAED講習の内容を
実践した。

救急隊が到着したのは
発見から13分後。各スタ
ッフは「非常に長い時間
に感じた」とにかく救急
隊に早く来てほしいかっ
た」と不安に押しつぶさ
れそうだったが、「自分た
ちの店のお客様を助けた
という一心で身体が動
いていた」と口を揃える。

倒れた男性は週に2回
から3回来店する常連客
だった。搬送中の救急車
で脈を取り戻し、翌9日
に病院で意識を回復。快
方に向かっているとい

う。13日に家族から連絡
があり、謝意が伝えられ
た。

「こうしたことはもう
起きてほしくありません
が、万が一起きてしまっ
た場合でも今回の経験が
生きると思います」(岡本
副店長)

愛知県と岐阜県でホー
ル23店舗を運営する善都
(愛知県豊田市)は、20
05年から全店舗と本
社、営業所の全25カ所に

AEDを順次導入し始め
た。以降の新人社員には
各店舗の最寄りにある消
防署でAED講習の受講
を義務付け、正しく使用
できる体制を整えてい
る。電源のON・OFFで
AEDの動作確認を行う
ことも店舗の日課だ。
今回の功績について稲
沢市消防本部の石黒秀治

消防長は1月13日、同本
部で善都の7人に感謝状
を贈呈した。AEDを使
用した谷口店長、人工呼
吸した岡本副店長、心臓
マッサージをした柴田主
任、第一発見者の加藤さ
ん、通報した山口さんに
加えて、優れた社員教育
を行っている都筑善雄社

長、的確かつ迅速に連携
協力した都筑晶裕常務そ
れぞれに、感謝状が手渡
された。

石黒消防長は「稲沢市
民の安心・安全を保つ上
で、非常に心強い気持ち
でいっばいになった。救
命処置は日頃の訓練がと
ても大事。善都さんは、社
員教育がよくなされてい
た」と評価した。

都筑社長は「たくさん
のお客様が来店されるの
で、巡回を強化するなど
何があっても対処できる

体制も整えている。A E
Dを使わないにこしたこ

とはないが、今回の事故
をきっかけにしてすべて
の社員が安全・安心であ
ることの大切さを改めて
実感した」と話した。

今回の一件を機に、全
新卒社員に受講させてい
るAED講習を中途入社
の社員にも拡充。数年お
きに定期研修も行ってい
くという。